

第4回 NPO 活動交流センター運営委員会 議事録

[日付] 2007年2月6日(火) [時刻] 13:30~15:00 [場所] いわて県民情報交流センター6階 団体活動室2

出席者

* 敬称略、五十音順

委員	委員長 委員	高橋 敏彦 岩城 恭治 佐々木 昌子 長坂 清美 島山 泰彦	特定非営利活動法人いわて NPO-NET サポート 特定非営利活動法人夢ネット大船渡 特定非営利活動法人いわて NPO 事業開発センター 特定非営利活動法人やませデザイン会議 岩手県社会福祉協議会
NPO 活動交流センター	センター長 事務局	高井 昭平 瀬川 園美 村上 郁江	
オブザーバー		菅原 智明(岩手県地域振興部NPO・国際課)	

開会

[NPO 活動交流センターセンター長 高井 昭平 挨拶]

[NPO 活動交流センター運営委員会 委員長(議長) 高橋 敏彦 挨拶]

議事

[第1議題] 第3回運営委員会での助言、指摘事項についての状況報告

(6) メールニュースについて

意見①	NPO 活動交流センターのホームページに各中間支援の活動紹介記事を掲載し、メールニュースにリンクをはってはどうか。
返答①	次年度より、そのように行っていく。
意見②	中間支援 NPO 法人のメーリングリストを作成してはどうか。
返答②	対応したい。

[第2議題] NPO 活動交流センター利用状況報告及びソフト事業進捗状況報告

報告	第3回運営委員会助言通り、②データベース登録数の報告項目を変更、③情報揭示数の集計方法を変更した。
----	---

(2) データベース登録数

意見①	NPO 法人は情報公開の義務があるため、確認せずともデータベースへの掲載をして良いのではないか。
返答①	そのように対応していく。
意見②	県からの案内等が古い情報で発送されていることがある。 NPO 活動交流センターのデータベースは常に最新の情報が掲載されていると言えるよう対応願いたい。
返答②	新規承認された NPO 法人の情報は必ず届くことになっている。だが、NPO 法人の代表名の変更等は振興局から情報提供が無いため、どのように対処するか今後検討し返答する。

[第3議案] 次年度 NPO 活動交流センター事業について

(1) NPO に関する県民理解の促進業務について

意見①	ホームページの充実とは具体的にどのようなことを考えているのか。
返答①	ソフト事業の状況を掲載するなど活動報告の掲載を充実させていく予定である。掲載内容についても今後検討し削除・追加をしていきたい。 また、予算上可能であれば構成全体に手を入れたいと思っている。
意見②	ホームページ上の掲示板に好ましくない書き込みがされているが対処願いたい。
返答②	NPO 活動交流センターでは掲示板を設置しておらず、アイーナのホームページ掲示板である。指定管理者に確認を行う。
意見③	中間支援 NPO のホームページへのリンクはあるか？
返答③	作成してある。
意見④	中間支援 NPO のホームページへのリンクは、地図のようになっているとわかりやすい。
返答④	そのように変更する。
意見⑤	運営について、当会議だけではなく利用者の会議を設けて意見をもらってはどうか。
返答⑤	アンケートを行い、利用者から意見は随時もらっている。会議を設けるかどうかは、検討する。
意見⑥	専門家への相談業務一部委託は「提携・依頼」としたほうがよいのではないか。相談者には NPO 活動交流センターが関わったほうが良く、専門的な相談についても一緒に相談対応したほうが良いと思われる。
返答⑥	検討する。

(2) 県民活動交流センター運営調整業務

結 論	ひきつづき県民活動交流センター入居各センターと協議し取り組んでいく。
-----	------------------------------------

(3) NPO の運営力向上支援業務

意 見 ①	行政職員向けの「NPO への理解」「協働とはなにか」等のセミナーが必要と考える。そういった活動も NPO 活動交流センターの使命と思われる。
返 答 ②	県とともに検討する。
意 見 ②	講座を WEB 上で行う、DVD にするなどし、全県で講座を受けることが出来るようにしてはどうか？
返 答 ②	検討する。
意見③-1	協働事業を行う際、報告書等の書類が書けない団体が多い。協働事業を行う団体は NPO 活動交流センターの行う有料のマネジメントセミナーを受けてもらうなどシステム構築が必要と考える。
意見③-2	受けることが望ましいと伝えることは可能である。(菅原)
返 答 ③	受講した団体を認定するなどの方法も踏まえ、検討する。
意 見 ④	市民活動体験セミナーは名称と内容が合っておらず、趣旨が理解し難い。
返 答 ④	ニーズも岩手県にあっていないと考えているため、次年度については県にも十分検討願いたい。

(4) 協働推進業務

結 論	事務局案に異存なし。
-----	------------

(5) 目標値について

結 論	県民活動交流センター貸室利用件数ならびに利用者数についてはカウント方法や目標値の設定方法等検討が必要。
-----	---

(6) 職員の配置について

報 告	相談者の利用は平日 18 時までが主であり、土日祝と夜間の利用はほとんど無い。(別紙 1)
結 論	正職員の配置は平日の 18 時まででよいと思われる。

[議題 4] 平成 18 年度評価シートについて

意 見 ①	重要なものは倍付けしてはどうか。
意 見 ②	A・B・C 評価とし、どういった内容であれば A が挙げておく必要があるだろう。
意 見 ③	達成できなくとも目標・目的がずれているものについては理由を挙げ、自己評価を B にして良いと思われる。

以上

記録 瀬川園美